

安全データシート

製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻ Spectroquant®

作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

1. 化学品及び会社情報

製品番号 : 114730
 製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻ Spectroquant® (C1-1K)
 製品和名 : スペクトロクアント® 塩化物 セル テスト 測定原理 : 測光分析 (C1-1K)
 会社名 : メルク株式会社
 住所 : 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー
 製品取扱部門 : メルクミリポア事業本部
 MSDS発行部門 : EQJ部/RAグループ
 電話番号 : 03-5434-5267
 F A X 番号 : 03-6369-8617
 製造元 : Merck KGaA

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分1
 急性毒性 (経皮) : 区分3
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分3
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B
 皮膚感作性 : 区分1
 生殖細胞変異原性 : 区分2
 生殖毒性 : 区分2
 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1
 特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分1
 水生環境有害性 (慢性) : 区分1

シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H300 飲み込むと生命に危険
 H311 皮膚に接触すると有毒
 H316 軽度の皮膚刺激
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H320 眼刺激
 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
 H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 H370 臓器の障害
 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
 H400 水生生物に非常に強い毒性
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P281 指定された個人用保護具を使用すること。
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 P273 環境への放出を避けること。
 P301+P330+P331 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

製品番号：114730
製造元：Merck KGaA
製品名：Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl-1K)



作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P305+P351 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
P338 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P391 漏出物を回収すること。

備考

特定標的臓器毒性
(単回)区分1：腎臓、中枢神経系、視覚器、全身毒性
(反復)区分1：中枢神経系、腎臓

3. 組成及び成分情報

単一物・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	官報公示整理番号 (安衛法)	CAS番号	EC番号
チオシアン酸水銀(II)	1.3%	Hg(SCN) ₂			592-85-8	209-773-0
メタノール	2.9%	CH ₃ OH	(2)-201	公表	67-56-1	200-659-6

4. 応急措置

一般的注意事項：
手当てを行う際は、適切な保護具等を着用のこと。
メタノール誤飲を告げる。

吸入した場合：
直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：

水銀化合物は一般に、細胞毒性があり、症状としては、急性毒性：眼の損傷、誤飲・吸入による粘膜刺激—血圧低下、心不全、循環虚脱、腎臓疾患、慢性毒性：口腔内炎症、中枢神経障害をおこす。
刺激作用、眠気、目まい、昏睡、興奮、痙攣、酩酊、吐き気、嘔吐、頭痛、失明、視力障害、乾燥による皮膚硬化やあかざれ

医師に対する特別な注意事項：
情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：
水、炭酸ガス、泡、粉末

不適な消火剤：
特になし

製品番号：114730
製造元：Merck KGaA
製品名：Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl-
Spectroquant® (Cl-1K)



作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

特有の危険有害性：

可燃性物質
蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。
温度上昇により、空気と混合し爆発性混合物を生成する。
火災時に有害ガスまたは蒸気を発生する。

副生成物：

硫酸化物、水銀蒸気

消火を行う者の保護：

適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：

消火に用いた排水による、河川や地下水の汚染を防ぐ。
霧状水で、発生する蒸気等の拡散を抑制する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

漏出物との接触を避ける。
蒸気を吸い込まないように注意する。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：

下水施設に流してはならない。

回収・中和等：

排水口をふさぎ、飛散した漏出物は集め、ポンプで回収する。
吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

その他：

廃棄物の処理については第13項を参照のこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

衛生対策：

Sec. 8 ばく露防止措置の衛生対策 参照のこと。

保管：

容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
常温(15~25°C)で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：

設備対策：

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
関係法規に従い、十分な設備対策を行う。

衛生対策：

製品番号 : 114730
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl-1K)



作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

適切な保護具を着用し、安全に取り扱うこと。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護のための処置を講ずること。

保護具 :

保護眼鏡 :
保護メガネを使用する。

保護手袋 :
保護手袋を使用する。

呼吸用保護具 :
蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

環境に対する注意事項 :
下水施設に流してはならない。

その他 :
保護具は、作業場所、有害物の使用量や濃度に応じて選択すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体
色 : 無色
臭い : 特異臭
密度 : ca. 1.10g/cm³ (20°C)
pH : 適用外
蒸気圧 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
爆発限界 : 下限 データなし
 上限 データなし
溶解性 : データなし

その他

爆発性 : 分類されない
酸化性 : なし

10. 安定性及び反応性

反応性 :
加熱により、空気と爆発混合物を生成する。

安定性 :
吸湿性がある。

危険有害反応可能性 :

爆発するおそれ:

アセチリデン、有機ハロゲン化物、過塩素酸塩、酸塩化物、非金属ハロゲン化物、鉄(III)化合物、硝酸塩、フッ化物、塩化物、水素化物、過塩素酸、リン酸化物、硝酸、銀化合物、シリコン化合物、シラン、酸ハロゲン化物

発熱するおそれ:

ホウ素化合物、酸ハロゲン化合物、カリウム、ナトリウム、強酸化剤、ハロゲン化リン、強還元剤、酸塩化物、強酸、シルバーソルト、二酸化窒素

引火または可燃性ガス/蒸気を生成するおそれ:
過マンガン酸カリウム

避けるべき条件 :
高熱

混触危険物質 :

製品番号 : 114730
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl-
Spectroquant® (Cl-1K)



作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

プラスチック, 金属, 金属合金

危険有害な分解生成物:
火災時: 第5項を参照のこと。

1 1. 有害性情報

急性毒性:

経口:

LDLo (oral/human) : 143mg/Kg (RTECS) メタノール
LD50 (oral/rat) : 5628mg/Kg (IUCLID) メタノール
LD50 (oral/rat) : 46mg/Kg (RTECS) メタノール

吸入:

LC50 (inh./rat) : 85.26mg/l (4h) (IUCLID) メタノール

経皮:

LD50 (dermal/rabbit) : ca. 17100mg/Kg メタノール
吸収される。

皮膚刺激性:

わずかに刺激する。

眼刺激性:

わずかに刺激する。

感作性:

データなし

生殖細胞変異原性:

小核試験: 陰性 哺乳動物細胞を用いた試験 (in vivo) (IUCLID)
メタノール
AMES試験: 陰性 (IUCLID)
メタノール

発がん性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露:

データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露:

長期または継続摂取により、臓器を損傷するおそれがある。

吸引性呼吸器有害性:

データなし

追加情報:

その他の有害性:

アシドーシス、血圧低下、興奮、痙攣、酩酊、目まい、眠気、頭痛、視力障害、失明、昏睡に陥る。
症状が出るまでの潜伏期間がある。
肝臓、腎臓、心臓に障害をおこす。
視神経の不可逆的障害をおこす。

その他:

毒性に関する量的なデータはない。

水銀化合物は一般に、細胞毒性があり、症状としては、急性毒性: 眼の損傷、誤飲・吸入による粘膜刺激—
血圧低下、心不全、循環虚脱、腎臓疾患、慢性毒性: 口腔内炎症、中枢神経障害をおこす。

体内蓄積のおそれがある。

この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。

適切な安全衛生規定に従って取扱うこと。

製品番号 : 114730
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl-
Spectroquant® (Cl-1K)



作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

1 2. 環境影響情報

生態毒性 :

LC50 15400 mg/l (96h) (ECOTOX Database)
ブルーギル (メタノール)
EC50 >10000 mg/l (48h)
ミジンコ (メタノール)
LC50 0.15 mg/l (96h)
ファットヘッドミノー (チオシアン酸水銀(II))
EC50 0.0052 mg/l (48h)
ミジンコ (チオシアン酸水銀(II))

残留性・分解性 :

生分解性 99% (30d) (メタノール)
OECD TG 301D
BOD 600~1120 mg/g (5d) (IUCLID) (メタノール)
COD 1420 mg/g (IUCLID) (メタノール)
ThOD 1500 mg/g (メタノール)
Ratio BOD/ThBOD BOD5 76% (closed bottle test) (メタノール)

移動性 :

データなし

PBTアセスメント :

化学的安全評価が不要または実施されていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

その他 :

自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :

関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装 :

空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号 : 3316
品名 : CHEMICAL KIT
クラス : 9/III

国内規制 :

消防法 : 第四類 第三石油類 III 水溶性
毒物及び劇物取締法 : 医薬用外毒物 (チオシアン酸水銀(II))

安全対策 :

運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法 : 第四類 第三石油類 III 水溶性

チオシアン酸水銀(II)
毒物及び劇物取締法 : 毒物 政令番号 : 指定毒物 17

製品番号：114730
製造元：Merck KGaA
製品名：Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl-1K)



作成日 2002年06月04日
改訂日 2016年06月17日

労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第2類物質

メタノール
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：優先評価化学物質
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい

安全データシート

製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻ Spectroquant®

作成日 2003年08月08日
改訂日 2016年06月17日

1. 化学品及び会社情報

製品番号 : 114730
 製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻ Spectroquant® (Cl⁻)
 製品和名 : スペクトロクアント® 塩化物 セル テスト 測定原理 : 測光分析 (Cl⁻)
 会社名 : メルク株式会社
 住所 : 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー
 製品取扱部門 : メルクミリポア事業本部
 MSDS発行部門 : EQJ部/RAグループ
 電話番号 : 03-5434-5267
 F A X 番号 : 03-6369-8617
 製造元 : Merck KGaA

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分5
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B
 生殖毒性 : 区分1A
 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分3 (麻酔作用)
 : 区分3 (気道刺激性)
 : 区分1
 特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1

シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気
 H303 飲み込むと有害のおそれ
 H320 眼刺激
 H335 呼吸器への刺激のおそれ
 H336 眠気又はめまいのおそれ
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 H370 臓器の障害
 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
 P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 P281 指定された個人用保護具を使用すること。
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
 P304+P340 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P305+P351 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
 P338 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P302+P352 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けんで洗うこと。
 P303+P361 皮膚 (又は髪) に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

製品番号：114730
製造元：Merck KGaA
製品名：Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl⁻)



作成日 2003年08月08日
改訂日 2016年06月17日

P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P403+P404 換気の良い場所で密閉容器に保管すること。
P501 内容物/容器を国や地方自治体の規則に従って廃棄すること。

備考

特定標的臓器毒性
(単回)区分1：中枢神経系、視覚器、全身毒性
(反復)区分1：中枢神経系、視覚器

3. 組成及び成分情報

単一物・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	官報公示整理番号 (安衛法)	CAS番号	EC番号
硝酸	2.0%	HNO ₃	(1)-394	公表	7697-37-2	231-714-2
硝酸鉄(III)	3.5%	FeN ₃ O ₉	(1)-355	公表	10421-48-4	233-899-5

4. 応急措置

吸入した場合：
直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：
水溶性鉄化合物は一般に、誤飲により吐き気、嘔吐、大量吸収により心臓血管障害をおこし、肝臓、腎臓に有毒である。
亜硝酸塩/硝酸塩は一般に、大量に摂取した場合、メトヘモグロビン血症をおこす。
刺激作用

医師に対する特別な注意事項：
情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：
周辺の貯蔵品に適用される消火剤

不適な消火剤：
特になし

特有の危険有害性：
不燃性
火災時に有害な蒸気を発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

製品番号：114730
製造元：Merck KGaA
製品名：Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl⁻)



作成日 2003年08月08日
改訂日 2016年06月17日

その他：
消火に用いた排水による、河川や地下水の汚染を防ぐ。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：
漏出物との接触を避ける。
蒸気を吸い込まないように注意する。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
排水口をふさぎ、飛散した漏出物は集め、ポンプで回収する。
中和剤で中和し、吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

その他：
廃棄物の処理については第13項を参照のこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

衛生対策：
Sec. 8 ばく露防止措置の衛生対策 参照のこと。

保管：
容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
常温(15~25°C)で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
関係法規に従い、十分な設備対策を行う。

衛生対策：
適切な保護具を着用し、安全に取り扱うこと。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為の処置を講ずること。

保護具：
保護眼鏡：
保護メガネを使用する。

保護手袋：
保護手袋を使用する。

呼吸用保護具：
蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

製品番号 : 114730
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl⁻)



作成日 2003年08月08日
改訂日 2016年06月17日

その他の保護具 :
耐酸性の保護衣を着用する。

環境に対する注意事項 :
下水施設に流してはならない。

その他 :
保護具は、作業場所、有害物の使用量や濃度に応じて選択すること。

9. 物理的及び化学的性質

形 状 : 液体
色 : 黄褐色
臭 い : 無臭
密 度 : ca. 1.03g/cm³ (20°C)
pH : ca. 1 (20°C)
蒸 気 圧 : データなし
沸 点 : データなし
引 火 点 : 適用外
自然発火点 : データなし
爆 発 限 界 : 下限 データなし
 上限 データなし
溶 解 性 : 水に溶ける。

その他
爆発性 : 分類されない
酸化性 : なし
腐食性 : 金属腐食のおそれ

10. 安定性及び反応性

安定性 :
通常の手扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性 :
引火または可燃性ガス/蒸気を生成するおそれ:
アルカリ金属、アルカリ土類金属、アンモニア、アルカリ、水素化物、ハロゲン、ハロゲン化合物、非金属酸化物、非金属ハロゲン化物、非金属水素化合物、非金属、リン化物、窒化物、ケイ化リチウム、過酸化水素、有機可燃物、酸化性物質、有機溶媒、アルコール、ケトン、アルデヒド、無水物、アミン、アニリン、ニトリル、有機ニトロ化合物、ヒドラジンおよび誘導体、アセチリデン、金属、金属合金、金属酸化物、酸

避けるべき条件 :
データなし

混触危険物質 :
金属、金属合金、金属との接触により水素を生成する。

危険有害な分解生成物 :
データなし

11. 有害性情報

急性毒性 :
経口 :
LD50 (oral/rat) : 3250mg/Kg 硝酸鉄 (III)
LDLo (oral/human) : 430mg/Kg (IUCLID) 硝酸
口腔、咽頭に重度の火傷をおこし、食道や胃に穿孔のおそれがある。
吸入 :
LC50 (inh./rat) : 28mg/l (4h) (IUCLID) 硝酸

製品番号：114730
製造元：Merck KGaA
製品名：Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl⁻)



作成日 2003年08月08日
改訂日 2016年06月17日

粘膜を刺激するおそれがある。

経皮：
データなし

皮膚刺激性：
刺激する。

眼刺激性：
激しく刺激する。

感作性：
データなし

生殖細胞変異原性：
AMES試験：陰性 ネズミチフス菌を用いた試験
硝酸

発がん性：
データなし

生殖毒性：
データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露：
データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露：
データなし

吸引性呼吸器有害性：
データなし

追加情報：
毒性に関する量的なデータはない。
水溶性鉄化合物は一般に、誤飲により吐き気、嘔吐、大量吸収により心臓血管障害をおこし、肝臓、腎臓に有害である。
亜硝酸塩/硝酸塩は一般に、大量に摂取した場合、メトヘモグロビン血症をおこす。
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。
適切な安全衛生規定に従って取扱うこと。

12. 環境影響情報

生態毒性：
LC50 10~20 mg/l
ゴールデンオルフェ (硝酸鉄(III))
LC50 72 mg/l (96h) (IUCLID)
カダヤシ (硝酸)

残留性・分解性：
データなし

生体蓄積性：
データなし

移動性：
データなし

PBTアセスメント：
化学的安全評価が不要または実施されていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

その他：
リン/窒素化合物は一般に、水域の富栄養化を促進するおそれがある。
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

製品番号 : 114730
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Chloride Cell Test Method: photometric 5 - 125 mg/l Cl⁻
Spectroquant® (Cl⁻)



作成日 2003年08月08日
改訂日 2016年06月17日

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :

関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装 :

空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号 : 3316
品名 : CHEMICAL KIT
クラス : 9/III

安全対策 :

運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

硝酸

労働安全衛生法第57条の2 : 通知対象物質

労働安全衛生法第57条 : 表示対象物質

労働安全衛生法特化則 : 第3類物質

硝酸鉄(III)

労働安全衛生法第57条の2 : 通知対象物質

労働安全衛生法第57条 : 表示対象物質

1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい